志學館大学ティーチング・アシスタント規程

(目 的)

第1条 この制度は、志學館大学（以下「本学」という。）の優秀な大学院学生をティーチング・アシスタント（以下「TA」という。）として採用し、もって学士課程の教育の充実を図るとともに、大学院学生の教育・研究能力の向上に資することを目的とする。

(資 格)

第2条 TAは、本学の大学院学生で、教育上の補助業務を遂行する能力・適性を有する者とする。

(職務内容)

第3条 TAは、学士課程学生を対象とした教育活動において、担当教員の指示のもとで、講義、実験、実習、演習等の教育上の補助業務に従事する。

2 TAに従事させる授業科目及びその他の教育活動は、研究科教務委員会と人間関係学部教務委員会の協議により決定する。

(公募、選考及び契約)

第4条 研究科教務委員会は、本学の大学院学生の中からTAを公募し、選考の結果を研究科長が承認の上、学長に報告する。

2 雇用契約については、別に定めるところにより作成する。

(雇用期間)

第5条 TAの雇用期間は、4月1日から翌年3月31日までの1年間の範囲内とする。

(研 修)

第6条 TAとして雇用された者は、第5条の雇用期間中に、本学が指定する研修を受講しなければならない。ただし、雇用前に当該研修を受講したことがある者は、この限りではない。

(給 与)

第7条 TAの給与に充当する経費は、当該年度予算で定める。

(TAの解職)

第8条 TAが次のいずれかに該当する場合は、研究科委員会の議を経て、学長は解職することができる。

- (1) 健康上の事由により、職務を遂行できないとき。
- (2) 職務を怠り、改善の見込みがないと認められたとき。
- (3) 職務上知り得た秘密を外部に漏らしたとき。
- (4) その他TAとして職務を遂行できないと認められるとき。

(守秘義務)

第9条 TAは、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。なお、その職を退いた後も同様とする。

附 則

この規程は、平成19年9月26日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年9月18日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和4年3月9日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、令和5年5月31日から施行し、令和5年4月1日から適用する。